

第2次世田谷区立図書館ビジョン【基本理念】「知と学びと文化の情報拠点」

上記の基本理念の実現に向け、基本方針のひとつ「専門性と効率性を両立した運営体制の構築」を示している。

世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会からの報告やこの間の議会での議論を踏まえて、順次、民間活用を図りながら、運営体制や仕組みなどの整備に取り組んでいく。

図書館ビジョンの基本理念に基づく魅力ある図書館づくりに向けた事業方針

0歳児からの読書を支える図書館    大人の学びを豊かにする図書館    暮らしや仕事に役立つ図書館    世田谷の魅力を収集・発信する図書館

中央図書館（区職員による運営体制）

全図書館を統括・調整するマネジメント機能に加え、選書やレファレンスといった公共性・専門性を維持しながら、安定的な図書館運営やサービス水準を継続していく。

<中央図書館機能の強化>

(1) マネジメント機能

計画・評価・調整

図書館ビジョンの実現に向け各図書館が年間の計画と目標を立て、中央図書館は各図書館の進捗状況を確認・評価し、全館調整を図る。

人材育成

区職員の専門性を確保するため、司書有資格者の確保や研修の実施などの人材育成計画策定に取り組む。

(2) 選書・除籍

資料の偏りを防ぎ、利用者ニーズを把握して透明性の高い選書を行うために、区が収集方針等の基準を策定し選書・除籍を行う。中央図書館の蔵書管理のもと地域特性に応じて地域図書館が資料収集するなど、複数の担当者が議論を重ねながら資料選択を行っていく。

(3) 課題解決型のレファレンス

約50万冊の蔵書や商用データベースを活用し、必要な知識やノウハウなどの専門性を有した人材を確保することで、区民の様々な疑問や課題の解決を支援するなど、より専門性の高い高度なレファレンスに対応する。

取組みの柱  
中央図書館の  
マネジメント  
機能の強化

中央図書館が運営をマネジメント

地域図書館（順次民間活用を検討）

世田谷らしい魅力ある図書館をめざし、安定的な図書館サービスを提供していくために、民間事業者の迅速性、柔軟性を活かし、地域特性や利用者ニーズに応じた自由度の高い図書館サービスの充実を図る。

取組みの柱  
地域図書館の  
民間活用

民間活用（指定管理者制度）館の選定の視点（例示）

図書館ビジョンの事業方針に沿った魅力ある図書館づくりに向けた取組みと地域図書館の地域特性・特色等を比較検討し、地域特性や利用者ニーズに応じた自由度の高い図書館サービスの充実を図ることができる地域図書館2館に、モデル的に指定管理者制度を導入する。

民間活用を図る上では、業務要求水準書等に、司書有資格者や一定の業務経験年数、継続雇用等を規定し、専門性を維持する。

中央図書館が運営を管理

地域図書室

将来的に民間活用による効率化を図るなど、施設の活用方法を含めて検討していく。

図書館カウンター

開館日・開館時間の拡大とサービスの効率化を図るため、引き続き業務委託による運営とする。

（仮称）図書館運営協議会

区民や学識経験者等が、恒常的により良い図書館運営やサービス水準をチェックしていくガバナンスの仕組みとして、図書館運営協議会を設置する。

取組みの柱  
（仮称）図書館運営協議会の  
設置（ガバナンスの仕組み）